

健康教育

- ☆ すくすく伸びる青木中央小の子
 —心身ともに健康で自主的自発性に
 富む人間性豊かな児童の育成— 佐藤則元 2
- ☆ たくましく しなやかに
 —心身共にすこやかで、めあてに向かってやりとげる子— 大石健次 7
- ☆ 「活力ある学校づくり」をめざして
 —健康でたくましく実践力のある子— 石郷岡 健 12
- ☆ 今、ここに生きる子どもたちを
 —心が形を求め、形が心をすすめる— 小原祐吾 16

1989年度健康優良学校 全国特別優秀校の4校

左から4人ずつ青木中央(小)、西都台(小)、市野沢(小)、栗林(小)
 の各校長、PTA会長、男女児童代表

〈朝日新聞社提供〉

1989年度 全日本健康優良学校表彰式

主催 朝日新聞社 後援 文部省・厚生省



すくすく伸びる青木中央小の子



～心身ともに健康で自主的自発的に

富む人間性豊かな児童の育成～

埼玉県川口市立青木中央小学校

校長 佐藤 則 元

1、地域と学校の概要

(1) 川口市の概要

川口市は、埼玉県の最南端に位置し、荒川をへだてて東京都と隣接した首都圏に含まれる、人口、約42万人の県下最大の都市である。

東京駅からJR京浜東北線に乗って25分、荒川鉄橋を渡ると、左右に近代的なビルと所々にキューボラ（鋳物鉄をとく溶鉱炉の煙突）が見えてくる。江戸時代から鋳物づくりが盛んで『鋳物の町』『キューボラのある町』として知られている。鋳物工業、鉄鋼業は川口の主要産業であり、今日の川口の発展の基礎になっている。また市の東北部では植木産業が盛んである。



(2) 学校の概要

学校は、昭和38年に開校し、現在児童数が988名、27学級の大規模校である。

学校周辺は、市役所、法務局、裁判所、税務署などの官庁が多く、川口の中心的な場所である。また、学

区内には市営のオートレース場があり、開催日には学校周辺の交通量が著しく増える。学区に隣接した所に市の運動公園、青木町公園があるほかには、これといった遊び場がなく、必ずしも子供達の育成環境としては良好とはいえない。

PTA、地域の人々は町を愛する心が強い。また、学校教育に寄せる期待や関心も高く、協力的である。



校舎全景

2、本校の目指す健康教育

(1) 健康教育と教育課題

近年の科学技術の進展は、高度な経済成長と情報化社会を生み、物の豊かさを生み出した。しかし、物の豊かさは、物質万能の価値観を先行させ、自己本位のものの考え方の子どもをつくり出し、それが、多くの社会問題や教育課題をも生み出している。激変の時代に押し流される子どもたちは、自分を失い、意欲を失っ

て刹那的になり、結果として非行や登校拒否現象を生み出した。また、小家族時代が、過保護、過干渉、或いは無干渉による依存症、無責任現象を培養している。さらには飽食の時代がもたらした成人病など人間退化が著しい。

このような状況の中で、来るべき21世紀を展望したとき、心身の健康は、喫緊の教育課題である。

(2) 本校教育の全体構造

そこで本校の教育は、教育目標『明るい子・がんばる子・考える子』の具現化を目指し、豊かな知性と徳性・体力を兼ね備えた、心も体も『たくましく』『しなやか』な児童の育成を目指した。そして、それは、教育活動全領域を通しての教育実践であり、『健康教育<心身の健康>』=『人間教育』をとらえた。

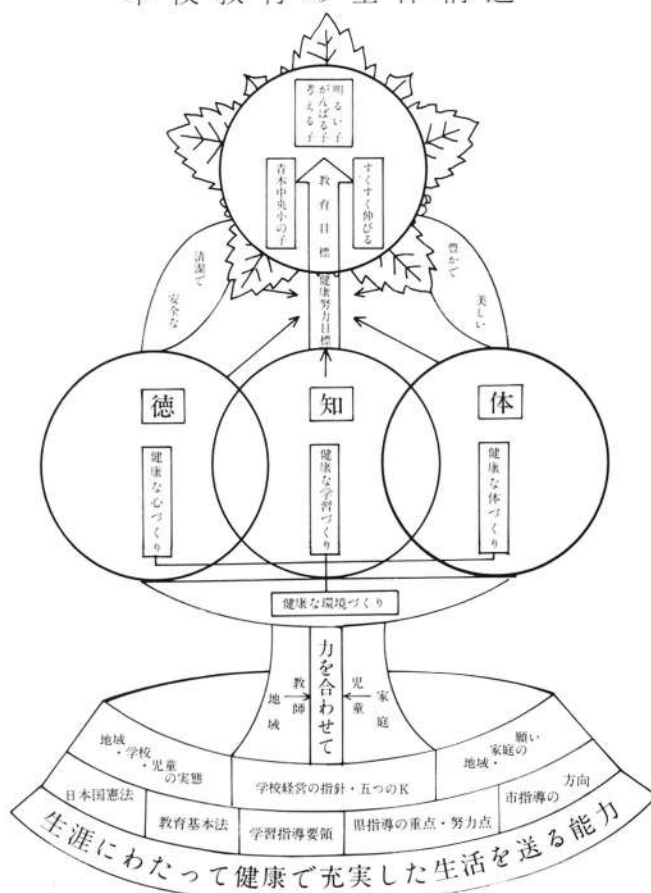
(3) 『四つの健康づくり』と『五つのK』

健康教育の推進に当たっては、健康づくりを4領域に分け『四つの健康づくり』として実践に努めている。さらに四つの健康づくりの基盤となる推進理念として『五つのK』をつねに心がけるようにしている。

(4) 本校の目指す健康教育（実践計画）

(次頁)

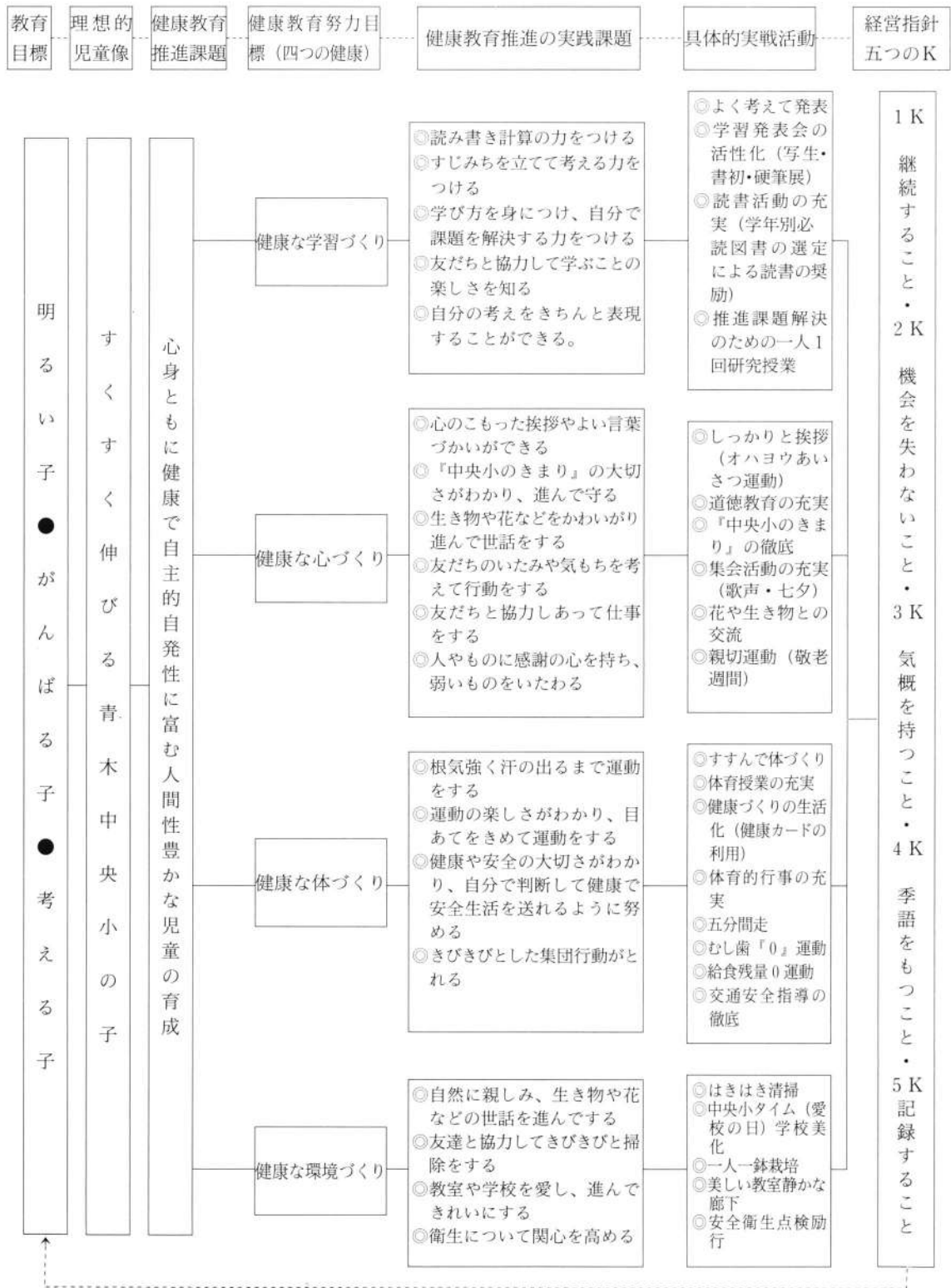
本校教育の全体構造



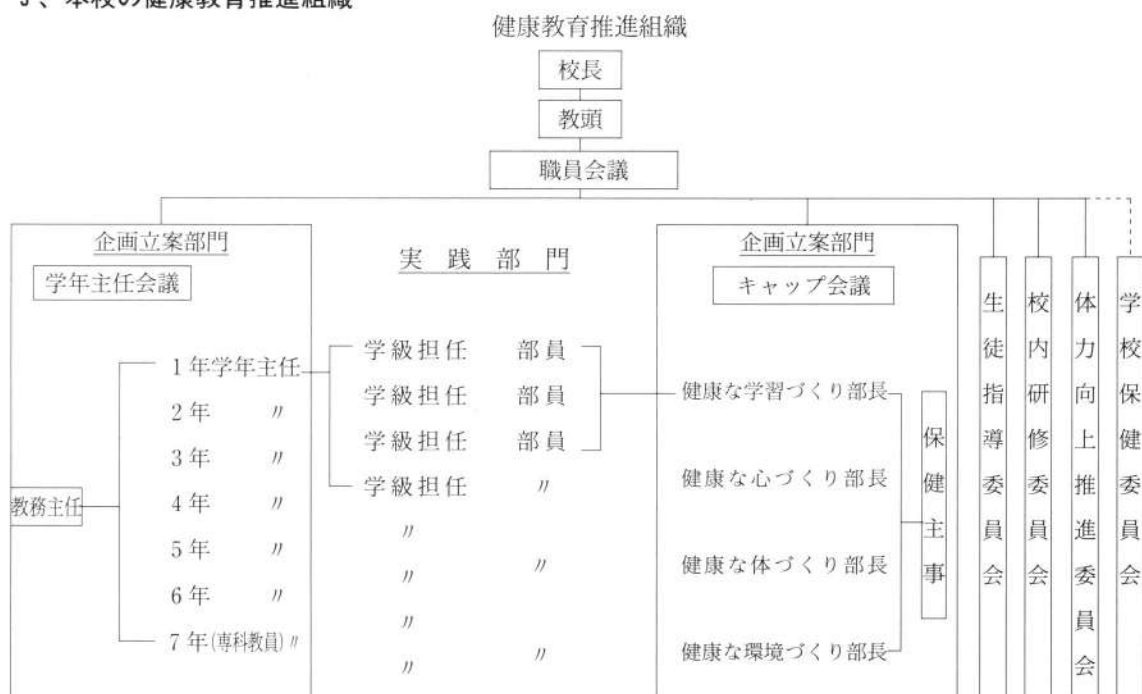
四つの健康づくり（指導事項）			
健康な学習づくり	健康な心づくり	健康な体づくり	健康な環境づくり
1 論理的・創造的思考力の開発	1 基本的生活習慣の形成	1 強靱な意志と体の育成	1 自然回復への努力
2 学習の楽しさ、成就感の体得	2 自律・自制心の体得	2 運動の楽しさの体得	2 美的・文化的環境の整備
3 学び方と自ら学ぶ習慣の形成	3 美しいものに感動する心の涵養	3 自他の生命を尊重する態度の育成	3 奉仕の精神の涵養
4 確かな表現力の育成	4 人間相互の敬愛と奉仕の精神の涵養	4 生涯を通じての健康安全生活態度習慣の確立	4 自然に親しみ自然から学ぶ態度の育成
5 基礎的・基本的内容の確かな習得			5 安全・衛生環境管理の徹底

五つのK		
1 K	継続すること	伝統は一日では出来ない。培った伝統を継承する事が力となる。
2 K	機会を失わないこと	指導にはタイミングがある。かけがえのない今日という日を逃したとき生涯、学ぶチャンスを見失ってしまうことだってある。
3 K	気概を持つこと	覇気・活気・元気・根気が身につけば子どもは変わる。
4 K	季語があること	詩情があり感動があれば、どの子どもも授業が好きになる。
5 K	記録をとること	一人一人の子どもを見つめ、巨視的な目と微視的な目で、丹念に記録をとっていけば子どもが解り、授業の道が開ける。

本校の目指す健康教育



3、本校の健康教育推進組織



4、教育活動の実際

四つの健康づくりにもとづいて

(1) 健康な学習づくり

日々の授業で筋道を立てて考え、自分の考えをきちんと表現できる能力の育成に重点を置いて指導している。特に平成元年度・2年度には市教委から算数科の研究委嘱も受けて課題解決学習をテーマとする学習指導法の研究に取り組んでいる。



筋道を立てて考える子の育成をはかる授業

(2) 健康な心づくり

朝の挨拶運動に始まって『中央小のきまり』を守っての基本的生活習慣の確立、道徳教育の充実、動植物の愛護等を通しての人や物への感謝の気持ちを育てる

指導を心掛けている。また児童会中心の集会活動の精選充実による魅力ある学校生活が過ごせるような工夫をしている。



みんなでかけようねがいのかけはし(七夕集会)



生命を大切にする心ー動物飼育



保健室の「そうだんコーナー」で心身の悩みも解消

(3) 健康な体づくり

体育授業の充実と毎週一回の業前体育と毎日の業間五分間走による体力づくり。保健学習の充実。そして虫歯0、給食残量0、交通事故0を目指して努力している。また健康観察カード、体力づくりカード活用による自らの健康を保持管理し体力増強に努めている。



元気に走る「5分間走」



業前体育での体力づくり

(4) 健康な環境づくり

ゆとりの時間<中央小タイム>の『愛校の日』には花壇の整備や一人一鉢栽培。学校内外の清掃奉仕。また定期安全点検の励行によって安全でしかも美しい人間性溢れる環境づくりに努力をしている。さらにPTA奉仕作業による学校美化も大きな力となっている。

健康観察カード ()年()月()日 組氏名()											
左						右					
こもく	あさのほみがき	ようのほみがき	たいのほみがき	保	担	こもく	あさのほみがき	ようのほみがき	たいのほみがき	保	担
にち	にち	にち	にち	任	任	にち	にち	にち	にち	任	任
にち	にち	にち	にち	任	任	にち	にち	にち	にち	任	任
1						1					
2						2					
3						3					
4						4					
5						5					
28						28					
29						29					
30						30					
31						31					

※ 朝食は必ずとるようにしてください。
 ※ 朝、体の具合が悪い時は必ず保健室をご記入してください。
 ※ テレビは、長時間視聴せず(目の健康のため)してください。
 ※ 睡眠時間は、小学生10時間、中・高学年9時間ぐらいいってください。
 ※ 用際は、1日1回するよう心がけましょう。"ウツキ"をすませて元気に登校。"ノ"を
 ※ 歯みがきは、1日3回、食後3分以内、3分間、歯はとくに大切です。忘れないようにしましょう。

記入方法() できた時 () できなかった時 ()



愛校の日ー全校児童による校舎内外の清掃・美化



PTAによる奉仕活動

5、おわりに

本校の健康教育実践は、他に比して特段優れた特色ある教育活動を行っているといったものではない。ただ日々の当然行わなければならない日常的教育を、学校・家庭・地域が一体となって地道にこつこつと長い間積み上げてきたものである。この姿勢を中央審査員の先生方がお認めくださったものと私たちは理解している。従って、これからもこの姿勢を崩さずに努めていく考えである。

たくましく しなやかに

一心身共にすこやかで

めあてに向かってやりとげる子一



静岡県浜松市立西都台小学校

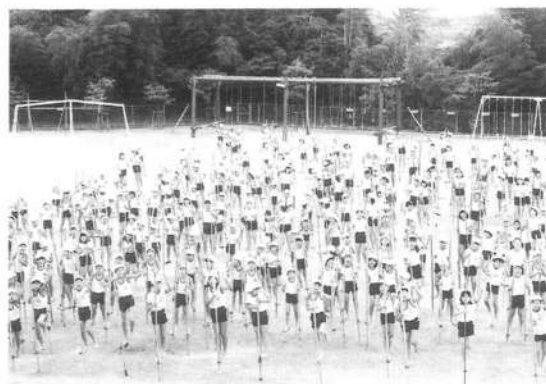
校長 大石 健次

1、学校の概要

本校は、静岡県西部の53万人都市浜松市の郊外に位置し、遠くは富士山を眺望し、遠州灘・浜名湖大橋を望むことができる。周囲を竹林と畑に囲まれ、静かで落ち着いた環境にある。また、校地内には、校舎建設の折に発見された中平遺跡の竪穴式住居が復元されており、地域にも豊富な史跡がある。古来、先人たちの住居であり、陽光とさわやかな空気・竹と史跡に満ちた丘に建っている。

(1) 学校の沿革

開校以来9年目を迎えた新しい学校である。明治6年以来地域にあった学校が昭和29年に廃校となり、その後四半世紀にわたる地域住民の熱望で本校は装いも新たに新設された。地域住民の学校に寄せる期待は絶大なものがあり、協力を惜しまない。



「全員集合」本校自慢の全校竹馬のり

(2) 特色ある施設・設備

① 郷土資料室－地域の人々の協力で集まった昔から



竹と史跡の里 西都台小学校

の農機具や中平遺跡の出土品等が展示され、地域の歴史を知り、郷土愛を育む場となっている。

② 竹の部屋－子供たちの作った竹細工や地域に生える竹の種類のほとんどが展示されている。竹で学ぶ部屋である。

③ ふれあいの部屋－PTAの方々の寄贈で集まった外国の品物や、子供たちが調査した外国の様子がわかる作品が展示され、国際理解を深める場となっている。

④ 放送スタジオ－機器が完備し、テレビ朝の会や昼の放送など学校生活のリズムを生み出している。

⑤ 芝生広場とはだしの小道－自然とのふれあいを通し、伸び伸びと体を動かす場となっている。竹踏み・丸太・ブロックなど土とは違った感触が味わえるよう整備されている。

(3) 本校の教育課題と重点目標

本校では、子供たちが心身共にすこやかに育つことをめざして健康教育を推進してきた。重点目標に「や

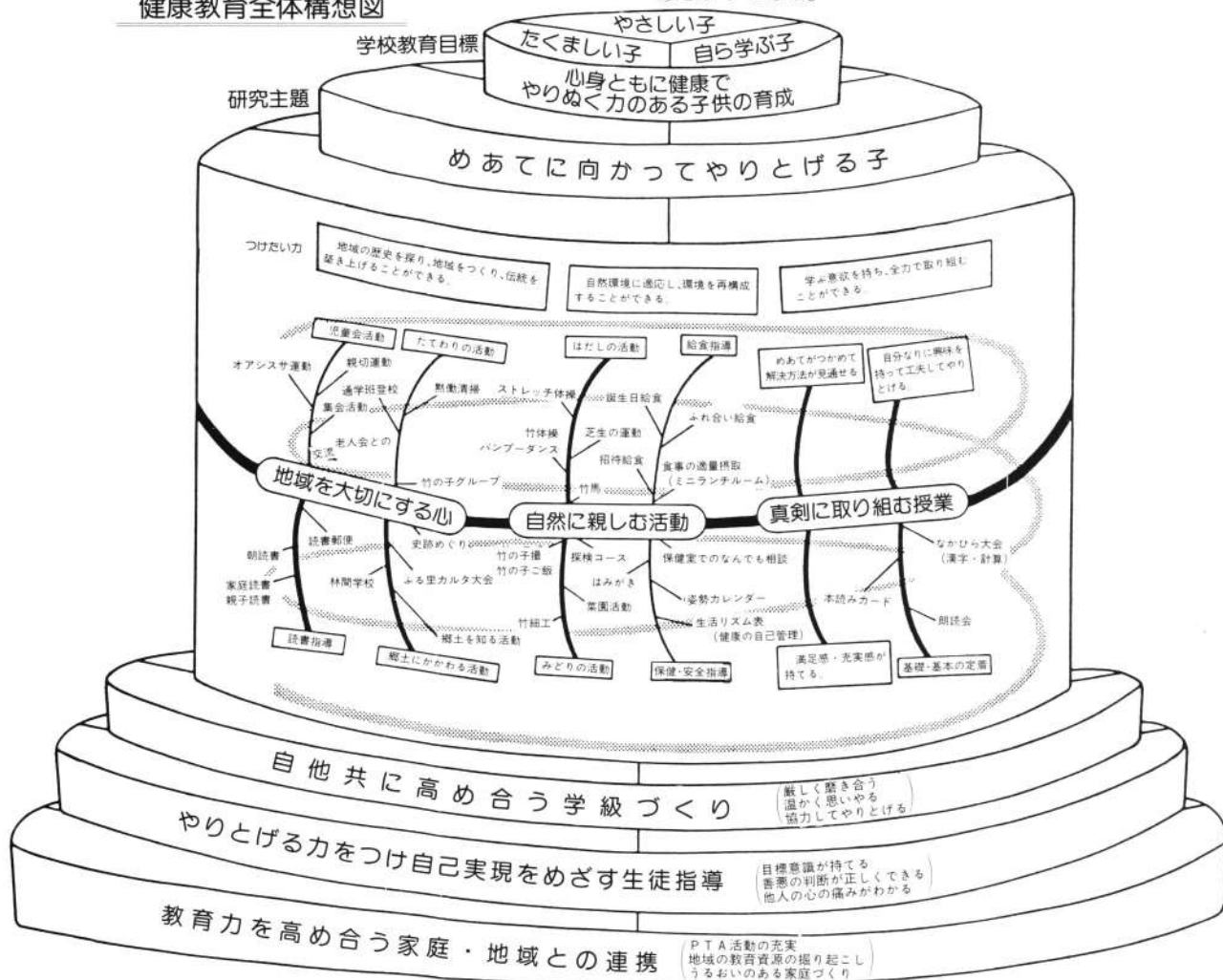


国際理解を深めるふれあいの部屋

さしい心」「たくましい体」「自ら学ぶ力」を掲げて、本校ならではの教育活動を工夫して実践している。

指導に当たっては、子供自らが課題を見付け、自分なりに工夫して解決していく自主性を特に尊重するように心掛けている。

健康教育全体構想図



本校の教育課題

- (1) 地域の教育的環境を生かした教育活動を推進して、思いやりの心や郷土を愛する心を育てる。
- (2) 健康に関心を持ち、自分で健康づくりに努力する態度を育てる。
- (3) 自分で課題を見つけ、意欲的に学習に取り組む態度を育てる。
- (4) 諸外国の人のくらしに関心を持って生活する国際理解を深める。
- (5) 家庭・地域の連携を密にし、一貫性のある教育を推進する。

2、学校保健活動の全体計画と運営方針

学校保健活動は、心身共に健康な子供を育てる活動であり、健康教育の推進は、本校の教育目標を具現させることにほかならない。本校の健康教育全体構想は、図のとおりである。

3、特色ある教育活動

(1) 地域ぐるみで取り組む健康づくり

家庭・地域との連携を密にした健康的な習慣形成に重点を置き、心も体も頭もすこやかで元気な個の育成に努めている。

① 各家庭で行われる家庭保健委員会

健康づくりのための親子の話し合いや活動が行われている。う歯の予防、早起き運動等が取り組まれてきた。

② 保健活動の核となる学校保健委員会

「自ら築く健康生活」をテーマに、問題を洗いだし、改善策を立てたりして、各家庭・地域に働き掛けている。学校医の専門的な意見も浸透していくようにしている。

③ 学校だより「なかひら」の回覧

健康教育を進める上での学校の様子を家庭に知らせるだけでなく、自治会を通して回覧し学校への理解を深めた。

④ 「西都台の子をすこやかに育てる会」の設置

地域には、子供会・老人クラブ・スポーツ少年団・体育振興会など保健活動に直接かかわるさまざまな団体があり、熱心に活動している。自治会・PTAも含め、これら団体で会を構成し、地域ぐるみで健康づくりをしている。

(2) めあてを持って全力で取り組む竹っ子タイム

2校時と3校時の業間30分間を「竹っ子タイム」と名付け、火曜日から木曜日の3日間、自然と親しみながら体力づくりに取り組んでいる。

1年生から6年生までが縦割りの16グループ（竹の子グループ）になり、上下の協力関係を大切にして運動している。また、地域の竹をさまざまに生かし、活発に活動する中で体力をつけることをねらっている。

竹っ子タイム年間計画

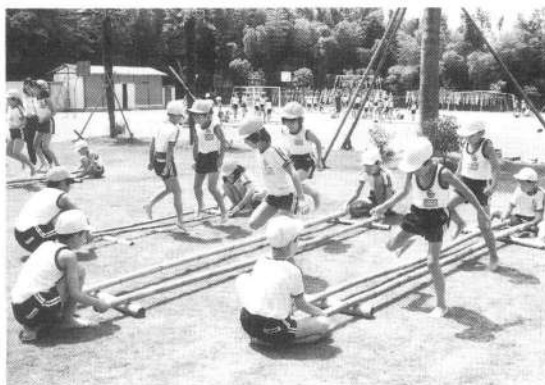
	10:02—5	10—13	16	20	25—30
(4月～11月)	ストレッチ	バンブーダンス	竹馬(芝生の運動含む)		
(12月～1月)移動	なわとび	走力を高める運動			移動
(2月～3月)	なわとび	持久走—低—中—高			

① けがの防止と柔軟性を養うためのストレッチ体操

1年生でも分かり易く、リラックスしてできるよう、解説や音楽を入れている。雨天時は教室や廊下を使って行う。

② 楽しくリズムカルなバンブーダンス

グループごとに跳び方やかけ声を工夫したり音楽に合わせて跳んだりすることで調整力や敏しょう性を高めている。



竹の子グループでのバンブーダンス

③ 挑戦して励む竹馬

各家庭手作りの竹馬を一人一人が持ち、竹馬ステップカードの級に挑戦しながら各コーナーで励んでいる。竹馬を通して平衡感覚を養い、めあてに向かってやりとげる心も育てている。



アスレチックコーナーでの竹馬のり

④ 肌で自然と親しむ芝生の運動

広い芝生の上で「乙女の祈り」の音楽に合わせ、体を曲げたり伸ばしたり転がったりしながら柔軟性や逆さ感覚を養っている。

(3) 地域を大切にする心を育てる活動

恵まれた自然や歴史的環境を教育活動に積極的に取り入れることにより、郷土を知り、誇りに思う気持ちを育てている。

① 地域の竹を使った活動

学年に応じて、水鉄砲、竹楽器、竹ぼっくり、竹皮を使ったバレンやぞうり作りなどを行ってきた。敬老の日には、肩たたきや花びんなどの竹細工を地域のお年寄りにプレゼントしている。その他、教室や廊下の

＜竹馬コーナー＞

スピードコーナー (4級以上)	10秒間で距離に挑戦する。 (乗り方)両手ー両足、両手ー片足、片手ー片足
アスレチックコーナー (4級以上)	障害物乗り越えて歩く。 階段上り下り、山登り、砂場、タイヤなど、
竹馬バンブーコーナー (特 級)	竹馬に乗って、音楽に合わせてバンブーダンスをする。
テクニックコーナー (4級以下)	竹馬ステップカードを利用して、いろいろな乗り方に挑戦する。
竹馬ダンスコーナー (低 学 年)	リズムに合わせて移動したり、ジャンケンをしたりしているいろいろな乗り方を楽しんでいる。

掲示にも竹を生かしている。

また、林間学校は、学校に宿泊し、竹筒でご飯やみそ汁を炊いて味わっている。



竹筒で炊くご飯とみそ汁

② 学校周囲に設けた探検コース

周囲の竹林や寺院の森の中に4つのコースを設けた。道順を示す標識や急斜面を利用したロープ登りなどを整備し、探索や珍しい植物の観察を楽しんでいる。

③ 広く学区を探訪するウォークラリー

学区でありながら、日ごろ足を踏み入れることのない山野まで使った約1時間半の4コースを作った。林間学校などの活動に取り入れ、子供たちは、マークの読み取りや各ポイントの難問に苦戦しながらもフルに頭と体を使い楽しんでいる。

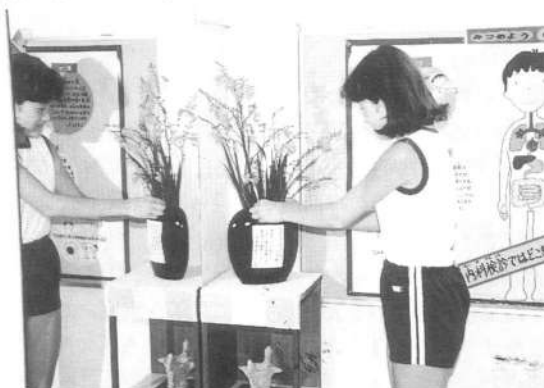
④ 地域の歴史を知る史跡めぐりコース

地域に数多くある史跡をめぐり、行った先々で資料

を調べたり地域の人の話を聞いたりすることにより、日ごろ何気なく通り過ぎる史跡を見直し、知識を深めている。

⑤ 心なごむ踊り場の野草

階段の踊り場の一角に、各学年の子供たちが地域で採ってきた草花を生けている。添えられたカードにより、子供たちは、季節感の中で地域の植物の名前や特徴を覚えていく。



採ってきた野草を生ける子供

⑥ 子供たちで創作したふる里かるた

地域の歴史、史跡、伝説、特色を詠んだふる里かるたを創作し、ちぎり絵にして展示したり、全校集会や学級集会で札を取り合ったりしている。



郷土をうたったふる里かるたの掲示

(4) 健康な心と体を求めて

子供の心身の健全な発育と健康の保持増進を援助するよう、指導に当たっている。

① 命の大切さを学ぶ性教育

性に対する正しい価値観、また生命を大切にすることの気持ちを育てることをねらいとした。そのため、VTR、TP、家族からの手紙等、資料の扱いを工夫し、感動を引き起こす指導を工夫した。

② 一人一人を見つめる健康観察

性に関する指導系統一覧表

学年	性目標・性役割			男女関係	家庭・社会の一員
	生命誕生	生理的・身体的発達	心理的・精神的発達		
小学校	1年		◎からだをきれいに	◎みんななかよく	◎道をたずねられた時
	2年	◎わたしとお母さんと		◎人のいやがること	◎さそいにのらない
	3年	◎わたしとお父さんと	◎テレビとわたしたち	◎男女の助け合い	
	4年	◎赤ちゃん誕生	◎からだの変化	◎マンガ雑誌とわたしたち	
	5年		◎大人への出発	◎男女のいたわり	◎性被害の防止
	6年	◎生命誕生	◎性への関心	◎異性の友達	◎性と社会

◎はロング ○はショートの学指で扱う



自分たちの心身の発達について考え合う性の授業

子供たちは登校すると健康観察板に自分の健康状態を表すとともに、朝の会でその様子を知らせる。担任は一人一人の状態を把握し、生活上の助言をする。

③ 悩みや疑問を解決するなんでも相談

子供たちは、自分で解決できない悩みや健康な生活を送る上での疑問などを抱いた時「なんでも相談ポスト」に気軽に投かんする。養護教諭が「なんでも相談博士」となり、直接相談を実施したり手紙で返事を出したりして応じている。

(5) 心のふれ合う給食の工夫

子供同士、教師と子供の和やかな人間関係、また給食員や自然の恵みに感謝する心を育てることをねらっている。

① 青空の下、芝生の上でのふれ合い給食

自然に親しみながら、毎月1回、学年や学級の枠を外して、楽しく食べている。

② みんなで祝う誕生日給食

毎月、最終日には、その月に誕生日を迎えた子に手

製のしおりを贈ったり牛乳で乾杯したりして祝っている。



他クラスや他学年と交流するふれ合い給食

③ 雰囲気を盛り上げる黒板用カーテン

母親たち手作りの見事なカーテンが各教室にかけられた。衛生面だけでなく、学習の場から食事の場へと気分転換を図っている。



カーテンをひいて和やかな給食のひととき

4、まとめと課題

全日本健康優良学校特別優秀校の表彰状の一文には、「……教職員と地域の人々が協力し、独自の工夫と努力で心も体もすこやかな児童を育てています。特に地域の恵まれた教育環境を生かし、児童の目標達成感をもとに展開する健康教育の実践は、他の模範で……」と記されている。開校9年来の学校・家庭・地域の協力による学校づくりが認められ、栄えある賞に輝き、感激もひとしおである。今回の受賞を励みとし、この受賞を本校の新たな出発点と受け止め、今後も一層日々の教育活動を充実させるよう努力していきたい。そのためには、一人一人の子供がよりたくましく、しなやかに伸びていくよう指導の手をさしのべたり、地域との連携・協力体制も一層確かなものにしたりして、特色ある教育活動を推進していきたいと考えている。

「活力ある学校づくり」をめざして

—健康でたくましく実践力のある子—



青森県三戸郡南郷村立市野沢小学校

校長 石郷岡 健



1、はじめに

(1) 求める学校像と健康教育

本校では、知・情・意・体の調和のとれた人間を育成するため、健康教育を中核とした全人教育の実践をめざして日常実践を進めています。本年度の学校課題として次の3点を挙げています。

- ① 学習に積極的に参加し、目的意識を持ち、集中力をもって最後までやりぬく子どもを育てる。
 - ② 明るい仲間づくりのために、思いやりの心を持って協力する子どもを育てる。
 - ③ じょうぶな子どもにするため、身心の健康と、体力に関心を持ち、その増進に努める子どもを育てる。
- これ等の課題を解決するため、教育理念をWHOの憲章の健康観に置き、児童の身体的・精神的・社会的健康を基盤として、心身一如たる「健康づくり」を中核とした教育実践を通して、調和のとれた望ましい人間形成をめざしているものであります。

そこで、めざす児童像を「健康でたくましく実践力のある子」にし、全職員の共通理解と協力、師弟同行による学校づくりの営みを通して、親の願い、社会の信託に応える教育の実現に努めてまいりました。

(2) 人間形成と健康教育

本校の健康教育は、生涯学習の基盤となる「生命尊重」の上にたった「心身の調和ある発達」を指標とするものであって、子どもたちは自力で問題を発見し、目あてに向かって実践していく過程が重要な意味を持ちます。

そのためには、①学習づくり、②心づくり、③体づくり、④生活づくり、⑤環境づくりの5領域が、健全な状態でなされることが必須でありましょう。しかも、この5領域が、調和した形で実践されるとき、本校で描く「健康でたくましく実践力のある子」へと成長していくものと信じております。

(3) 伝統と地域の中に生きる健康教育

昭和54年、青森県教委の「交通安全研究指定校」から続いた研究実績は、昭和58年、日本学校保健会と文部大臣より表彰され、更に昭和62年度、63年度と全国健康優良校（中規模の部）として表彰されましたが、平成元年度は、全国特別優秀校として表彰され、今日に至っております。

今後、更に、一層確かなものへ、よりよい学校へと希求し、発展し続けたいものと考えております。

全校児童で演技する地域伝統芸能「えんぶり」に代表される活動や、それに呼応して協力してくださる父母、地域社会の理解と支援のもと、更に子どもたちが大きく伸びていくものと願って止まないものであります。

2、本校の概要

(1) 沿革の概要

明治8年10月、民家を借りて下等小学校として設置されたのが本校の始まりである。翌明治9年、市野沢字黒坂に新築移転し、市野沢尋常小学校と改称、時を経て、昭和31年、中沢、島守、両村の合併により、南郷村立市野沢小学校となりました。現在の校舎は、昭和58年に改築落成し、「強く、明るく、たくましく」の校訓を柱に、教育実践を続け、現在に至っております。

(2) 児童数 218

学級数 8

教職員数 15

(3) 実践活動までの全体計画(次頁)

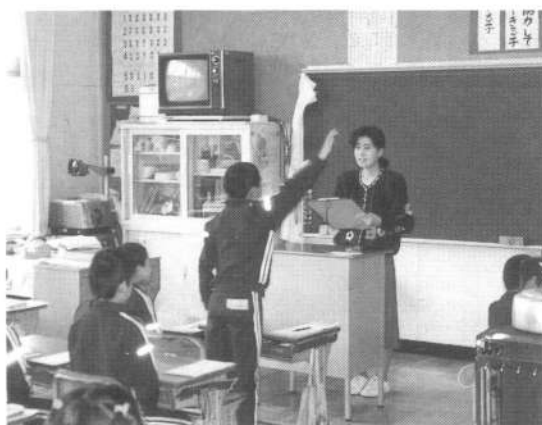
(4) 五つの健康づくりについて

21世紀に活躍できる調和のとれた児童を育成するために、家庭、PTA、関係機関団体等との連携を密にし、協力を得ながら五つの健康づくりを行っています。

① 自ら追求する児童の育成をめざして

ー健康な学習づくりー

児童が、高度情報化社会を生き抜いていくためには確かな学力と問題を解決していく力を身につけなければならないと思います。そこで、本校では、各教科とも導入時に児童の学習意欲を奮いたたせるような学習活動を工夫し、一人一人を生かす授業づくりを行っています。



頭を育てる学習づくり

② 思いやりのある児童の育成をめざして

ー健康な心づくりー

豊かな心情で、友だちにも親切にし、動植物を愛護する心を育てるために、教育活動全体を通して行って

います。

具体的には、音楽集会、あいさつ運動、小さな親切運動などを通して、一人一人の児童の不安や動揺などをとりぞきながら安らぎを与え、一人一鉢、親子農園等を通して、生命の尊重、勤労の尊さを体験させています。



心を育てる親子農園

③ 自己管理のできる力を育てる

ー健康な体づくりー

一人一人の児童が、生涯にわたって自らの健康の保持増進と体力の向上につとめ、豊かな生活を営むことができる能力や態度を育てるようにしています。

具体的には、教科体育を基盤として、持久走、縄とび、健康観察、歯みがき指導等を行っています。



体を鍛える持久走

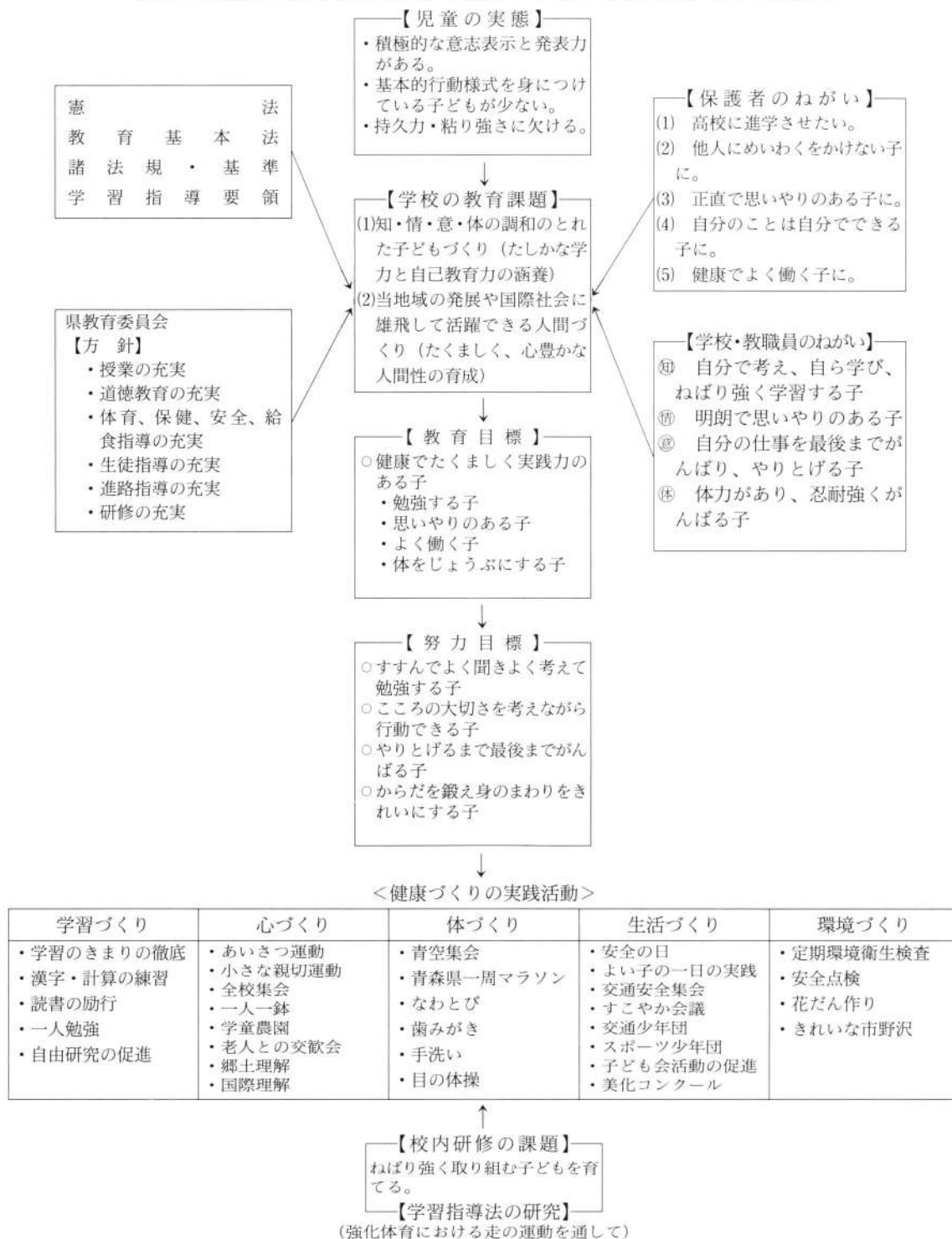
④ くらしを見つめ、問題を解決する力を育てる

ー健康な生活づくりー

より高い、健康な生活を送ることができるよう、生活を見直す力、生活を改善する力を育てています。

調和がとれ、実践力のある児童を育成するための全体計画

児童の実態と学校のエデュケーショナル・課題から健康づくりの実践活動までの全体計画



具体的には、すこやか会議（学校保健委員会）、美化コンクール、交通安全教室等を行っています。



くらしを良くする交通安全教室

⑤ よりよい環境をつくり出す力を育てる。

－健康な環境づくり－

環境づくりをすることにより、児童の意識を変容させるように行っています。

具体的には、花だんづくり、親子農園、きれいな市野沢（地域の清掃活動）、共同作品づくり等を行っています。



児童の意識をかえる花だんづくり

以上、五つの健康づくりを実践してきましたが、どれをとっても、地域、PTA、諸団体の協力なしには推し進めることができないものでした。今更ながら、地域との連携の必要性を痛感しております。

3、終わりに

本校では、最初に述べましたとおり、「健康で、たくましく実践する子」の育成をめざして、昭和57年より健康教育と取り組んでまいりました。健康教育を進めれば進めるほど、教師として、あれもやりたい、これもやりたいと欲が出てきます。

あせりが出ると、つい愚痴を言いたくもなりますが、地域の人も同じで、最初は「親子歯みがきだ？ 親子農園だ？ そんなこと学校でやることなのか。学力を伸ばすために他にやるべきことがあるのでは？」というような意見が出たようです。

ところが、立場を変えて、私たちが、保健活動を内側からみた時、「頭も、行儀も良い子どもだけが立派」なのだろうか。どの子ども良くなりたいという願いをもって毎日暮らしているのだから。そして、それを支えてやるのが私たちの仕事だし、また、私たちだけでできるものでもない。」

これは、本校の保健主事の言った言葉です。

教師と子ども、地域の人が一体となって長年の間、実践活動が続けるということは、簡単のようで難しいものであるということが保健主事の言葉で証明されていますが、本校では、今後、更に課題を掘り下げ、実践していきたいものと考えております。

この度の受賞は、本校のめざす到達点ではなく、これからが真の教育、児童一人一人を伸ばすための出発点として受けとめておりますので、今後一層の努力精進してまいります。

今、ここに生きる子どもたちを

—心が形を求め、形が心をすすめる—



岩手県釜石市立栗林小学校

校長 小原 祐 吾



87名の笑顔(11月中旬)

1、学校の概要

—静寂の中に躍動を—

釜石市は、岩手県の東南部に位置する。三陸リアス式海岸の潮風が気候温暖にして、北国ながら積雪がなく、年中緑の絶えぬ所である。日本の製鉄発祥地として有名であるが、平成元年3月、高炉の火が消えるという深刻な事態に直面し、今、「新生釜石」をめざし市民一丸となって模索に懸命である。「自らの手で」を合言葉に、55,000人の市民は、「今、釜石。そして未来へ」の市民歌を朝な夕なチャイムと共に口ずさみ活性化に向けた努力が続いている。

栗林町は、市街地より15km離れた山間に位置し、町民1008人である。教育に対する熱意厚く、三浦命助をはじめとする先人発祥の地を誇りとしている。

「健康、それは、今、ここに精一杯生きる姿そのもの」と捉え、嬉々として目を輝かし、全力を打ちこんで学校生活を楽しむ子どもたち。

明治10年4月11日創立。111年の歴史と伝統を誇りに学ぶ全校児童87名(6学級)は、みなかけがえない仲間。小規模校ながら、夢は大きく、そのはずむ声は、周りの山々に今日も快くこだまする。

2、教育目標と健康教育

—価値ある変化を求めて—

昭和49年、1本の歯ブラシを持つことから始められた健康教育は、15年間、たゆまぬ努力が続けられてきた。

第一期(S49～S55)「健康生活に主体的に取り組む子どもの育成をめざす」

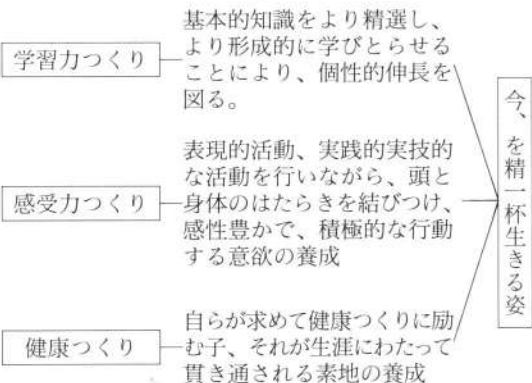
—う歯撲滅を期して—

第二期(S56～S60)「心も体もたくましい子」

—健康で安全な生活を営むことに必要な態度の育成—

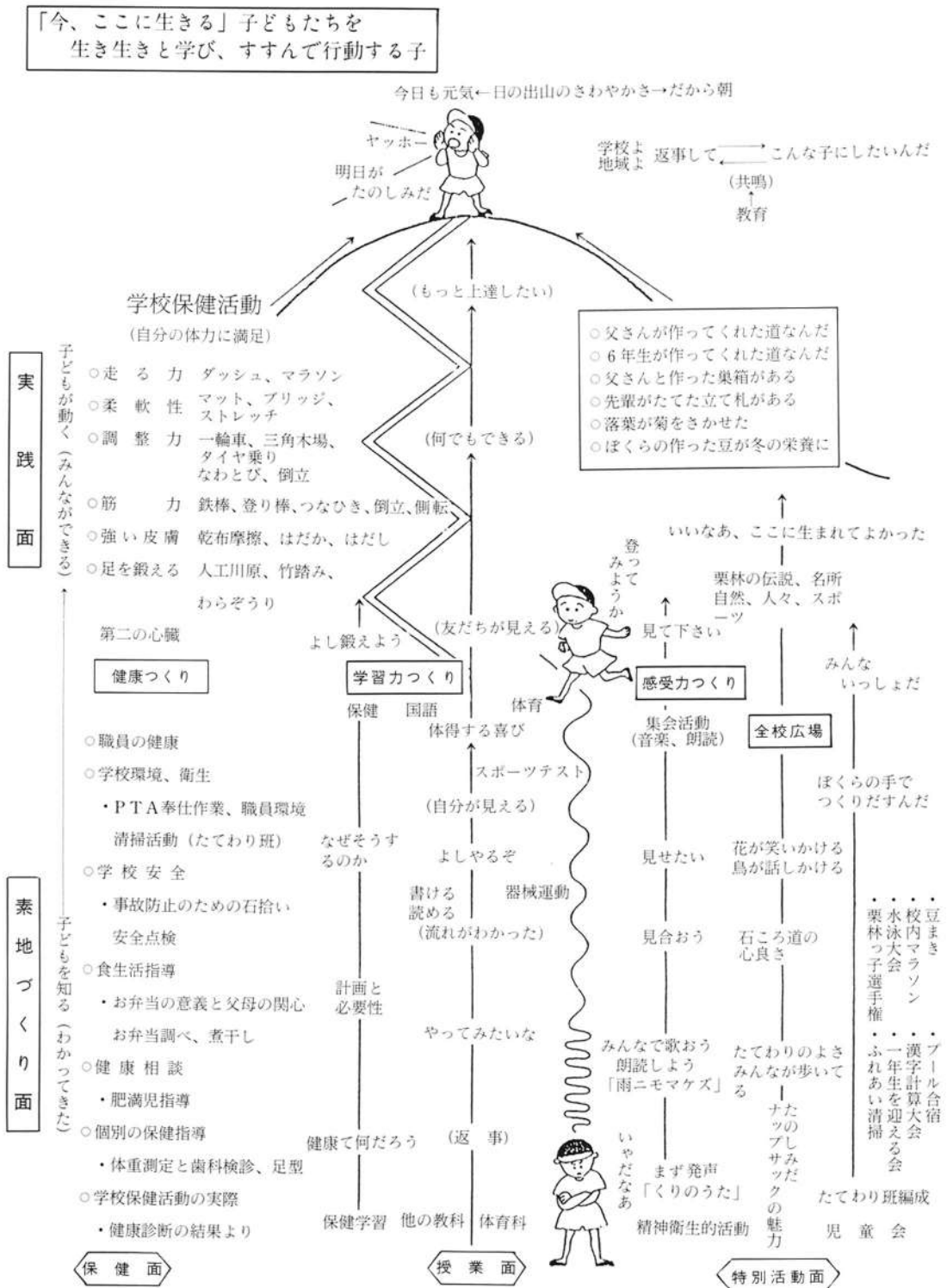
第三期(S61～H元)「生き生きと学びすすんで行動する子」

—学習力づくり、感受力づくり、健康づくり—



その時々直面した教育課題に対し、悩みそして解決しようとする。本校経営のねらいは、「今、ここに生きる子どもたちを一人ひとり尊重し、一人ひとりの持つ諸能力を引き出し充分発揮させることにある。

3、1日の生活のリズム「ふれ合い登山道」



4、ここちよい目覚め、自然と語らう登山道

毎朝、登校と共に子どもたちは、校庭前300mの「登山道」に挑戦する。「おはよう」と元気に声をかけ合う。PTA手作りの階段や立木を頼りの急斜面を息せききって登っていく。額にじっとりにじむ汗を拭いながら、わが家の方角に向かって「ヤッホー」「今日もがんばるぞー」と大声を出す。新鮮な空気を胸いっぱい吸い、ロープや枝にぶらさがり、自分の巣箱に小鳥がいはいか覗きこみ、わらびやきのこ、小さな虫を手にながら下山する。もう、ねむけとは無縁になった子どもたちは、一輪車、三角木馬、大タイヤ乗りにサッカー、……と歓声の輪が広がっていく。

自然とふれ合い、友だち、先生とふれ合い自分の体力気力に満足し、地域に語りかける「ふれ合い登山道」。そのやすらぎが新たな意欲をつくり出す、栗林教育の精神でもある。



大タイヤ乗り

5、自分をみつめ、自分に挑戦する体力づくり

業間運動のパターン（4～11月型）

ア、乾布摩擦（皮膚のたんれん、抵抗力増強、他学年との見合い）

イ、体操（いろいろな動きの経験）

ストレッチ運動、リズム運動、側転、倒立、ブリッチ、バランス、

ウ、マラソン（1、2週）

低学年 5周 約500m はだし一足の裏を鍛える

中学年 6周 約600m かけ声一肺を鍛える

高学年 7周 約700m

遊具（3、4週）

なわとび、鉄棒、登り棒、一輪車、三角木馬、

エ、全力疾走 40m、2本、走力、瞬発力を高める。

オ、人工川原（足の裏を刺激）

カ、反省会

まとめをしっかりと、感想発表



三角木馬



人工川原



大地を押す 体力づくり

6、表現力

ーもっと感じる心を

もっと表現する力をー



全体表現

朗々と声が出る。息いっばいに歌が歌える。自分のからだに流れる熱い血を表現することは、それだけで全身的で且つ人間らしい表現である。



表現発表会

音楽朝会、朗読朝会、音楽会出場、学習発表会、その学期の成長を示す表現発表会。あらゆる機会に豊かな心を表現してみる。

自分のあらん限りの力でからだを動かす姿、お腹から思い切り声を出す顔、口を大きく開けた表情、その瞳は、遠く未来に思いをはせるように輝いている。

7、大地に響く栗林の力

腕に感覚がなくなるまで藁を打ち、慣れない手つきで縄をない、手をかけ心をかけでき上がった一足の藁草履。上ばきとして足にすると先人の教えと生活の知恵のぬくもりが伝わってくる。



藁ぞうりづくり



藁 打 ち

栗林鹿踊りの太鼓が心を踊らせる。笛の音が気持ちを清澄させる。鹿踊りにこめられた地域の熱い願いが汗ににじむ。

教科書から離れ、自然と親しむ「全校広場」7月の広場は、川遊びだった。鍋をぶらさげ、ばけつを手にし、自然の中に溶け込む時、人間本来の開放された世界を満喫する。

人間らしい発達を保障し、人間らしく生きる力をつけること。そこには、「真に健康な笑顔」の子どもでいっぱいになる。「今、なにをなすべきか」。日々新たな課題に向かい創造する栗林教育の一端である。



リンゴの皮むき 学級指導

健康10か条

- 1、心して かもう 煮ぼしやかたいもの
- 2、もりもりと 食べる野菜で 病なし
- 3、体の休養まず睡眠 1日9時間ぐっすり
- 4、もうやめよう買いぐい立ちぐい罐ジュース
- 5、たしかめようハンカチちり紙 手足の爪
- 6、くつをぬぎ はだしうすぎて元気な子
- 7、まず排便 すっきりさわやか朝のうち
- 8、しっかりと 洗顔 歯磨き 休日も
- 9、いつでもどこでも 3・3・3・特に奥歯はていねいに
- 10、子どもは外で遊ぶもの 光を浴びて健康に

1989年度健康優良学校 全国特別優秀校・全国優秀校

大規模の部（18学級以上）

全国特別優秀校	埼玉県川口市立青木中央小学校
全国優秀校	富山県富山市立山室小学校
全国優秀校	岐阜県瑞浪市立瑞浪小学校
全国優秀校	山口県下関市立向山小学校

中規模の部（7～17学級）

全国特別優秀校	静岡県浜松市立西都台小学校
全国特別優秀校	青森県三戸郡南郷村立市野沢小学校
全国優秀校	香川県綾歌郡綾南町立昭和小学校
全国優秀校	山形県酒田市立浜田小学校
全国優秀校	栃木県塩谷郡氏家町立南小学校

小規模の部（6学級以下）

全国特別優秀校	岩手県釜石市立栗林小学校
全国優秀校	愛知県南設楽郡作手村立菅守小学校
全国優秀校	岡山県上房郡北房町立中津井小学校
全国優秀校	熊本県熊本市立五福小学校
全国優秀校	愛媛県宇摩郡別子山村立別子小学校

育ちざかりの
ひと粒！

体力をつけ健康を保つ

歯・骨を丈夫に……



カワイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区新井 2-51-8